

文教産業常任委員会記録

1. 開催日時 平成 29 年 6 月 21 日（水） 午前 11 時 50 分
2. 場 所 市議会第 3 委員会室
3. 出席委員
南野委員長・有田副委員長・大草委員・林委員・先野委員・重廣委員・
重村委員・中平委員・早川委員
4. 委員外出席議員
なし
5. 欠席委員
なし
6. 執行部出席者
別紙
7. 議会事務局職員
永田局長・岡田次長・佐伯書記
8. 協議事項
6 月定例会（6 月 16 日）から付託された事件（議案 1 件）
9. 傍聴者
なし
10. 会議の概要
 - ・ 開会 午前 11 時 50 分 閉会 午前 11 時 56 分
 - ・ 審議の経過及び結果
(別紙のとおり)

上記のとおり相違ありません。

平成 29 年 6 月 21 日

文教産業常任委員長

南 野 信 郎

記 録 調 製 者

岡 田 年 生

南野委員長 本日の出席委員については委員 9 人であり、定足数に達しておりますので、ただ今から、文教産業常任委員会を開会します。これより、本会議で本委員会に付託されました議案 1 件について、審査を行います。

それでは、議案第 2 号「平成 29 年度 長門市湯本温泉事業特別会計補正予算(第 1 号)」を議題とします。歳入と歳出を一括して審査します。執行部の補足説明がありましたらお願いします。

木村経済観光部長 補足説明はございません。

南野委員長 補足説明はないようですので、これより質疑を行います。ご質疑はありますか。

先野委員 特別会計の配湯施設整備事業について、お聞きいたします。私の認識では昨年 9 月議会において、新しい配湯タンクの建設については旧堂上福永跡地の整備予定の駐車場近くに予定されていたと思うんですけど、今回配湯センター敷地へ建設することがここに書いてあります。場所が変更になったのか、またその理由等についてお尋ねいたします。

長尾観光課長 それではお答えいたします。今、委員さんご指摘のとおり当初旧堂上福永跡地に整備予定の駐車場の付近に計画をしておりました。その後、基本設計を行う中で、設置場所を旧配湯センター敷地へ計画変更したものです。理由といたしましては、当初駐車場近くに計画したそもそもの理由が、高い場所に設置し、自然流下で各旅館ホテルに配湯することにより経費の削減が図られるということを考えておりました。しかしながら基本計画を進めていく中で設置場所と各旅館ホテルの高低差を測定したところ、一部自然流下で見込める水圧が確保できない施設があるとの結果が出されたものです。これによりまして、駐車場付近に設置するという案につきましては断念せざるをえませんでした。

そこで、現在あります施設を有効に利用するという観点から、現在のタンクの近くにありますが場所ということで、検討したところ現在利用していない、景観上も問題のあります旧配湯センター、これの敷地が良いんじゃないということになりました。その結果、今回解体について予算措置をお願いするものであります。

先野委員 旧配湯センターの解体と新しい配湯タンクの建設のスケジュールについてお伺いします。

長尾観光課長 解体の設計業務につきましては、今年の 10 月末の完了を考えております。また来年 3 月までには解体が完了し、平成 30 年度当初から建設に着手するという計画でございます。

南野委員長 ほかにご質疑はございませんか。

重廣委員 それでは私は 1 点。この恩湯泉源仮設配管設置ですか、これはおそらく今、解体されて、私もよく耳にしますし、観光課の方にもあると思うんですが、礼湯が今、人が多くなったと。礼湯が汚れてどうにかならないかと、汚れてとは失礼なのですけれどね。いつもよりは濁ったお湯になるので、今せっかくあっちにしたのならば、泉源をどねいかしてくれんかいのという話はよく耳に入ってくるのではないかと思います。市長も提案説明で言うておられます有効利用という意味でこういうふうな計画をされたと思うんですが、この仮設配管という形態ですね、どのように持って行かれるのか。というのといつ頃までにされるのかというのを伺いたいと思います。

小林観光課長補佐 今、恩湯の解体工事の方進めております。この恩湯泉源につきましては、ご存じのとおり建物の直下にあるということで泉源の状況がどういう風になっているかということが、まだ明確になっておりません。で、解体工事を進める中で並行しながら今、泉源調査の方を行っております。で、泉源の方の調査が終わりまして恩湯泉源を利用できる形態であるということが分かればですね、恩湯泉源の湧いている隣にユニットポンプを設置いたしまして、そこから恩湯の敷地にユニットポンプを設置して、それから配管を延長して行って礼湯に今使っていない配湯タンクがございますので、そちらの方に湯を送出して礼湯の方で活用したいと考えているところでございます。

スケジュール的にはですね、恩湯の解体が一応 8 月で完成予定ですので、それで泉源の状況がどういいう風になるかっていうことによって、ちょっと変わってこようかと思うんですが、順調にいけば盆から 9 月辺りに、もし泉源の方の調査でですね、そういうことがちょっと無理とかですね、どこかをどういいう風に加工しなければいけない、ということになると、ちょっと時期的なことは伸びる可能性とはございます。

重廣委員 今の話であれば、解体してみなければわからないと、ひょっとしたらですね、最悪の場合、解体してみて、そういう仮設は組まれませんよ。という状況になりうるということも、市の方も考えておられるということですね。

小林観光補佐 確かに言われる通りですね。泉源がどういう風になっているか、ユニットポンプでそこまで汲み上げることはできないということになれば、断念せざるをえないのかなというふうには危惧していますし、そのほかに、もしそうなればですね、他の有効利用方法をちょっと考えていきたいなというふうに考えております。

南野委員長 ほかにご質疑はございませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）ほかにご質疑もないので、質疑を終わります。討論を行います。ご意見はありませんか。ご意見もないので、討論を終わります。採決します。議案第 2 号について、

原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。(賛成者挙手) 挙手全員です。よって、議案第 2 号は、原案のとおり可決すべきものと決定しました。以上で、本委員会に付託された議案の審査は終了しました。これで文教産業常任委員会を閉会します。どなたもご苦労様でした。

— 閉会 11 : 56 —